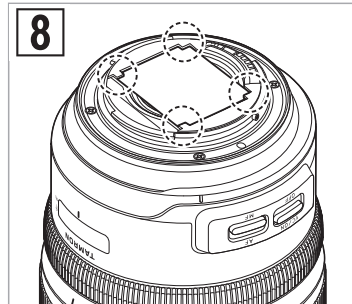
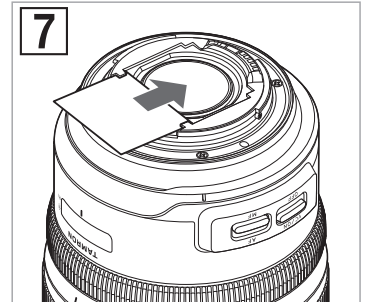
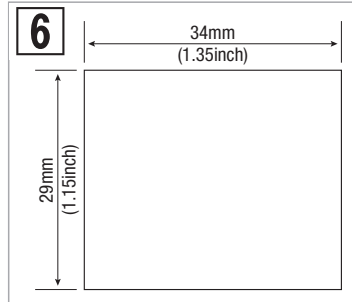
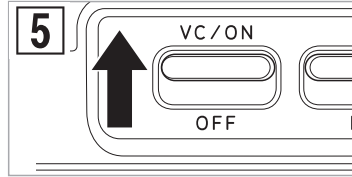
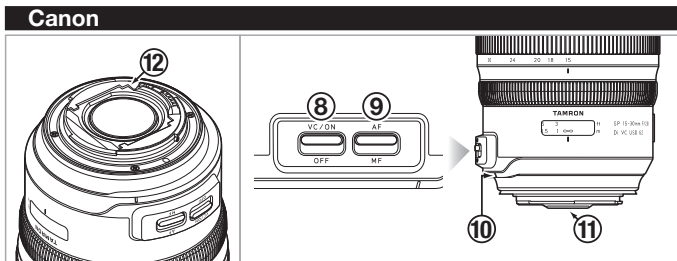
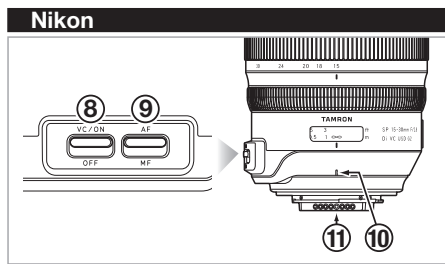
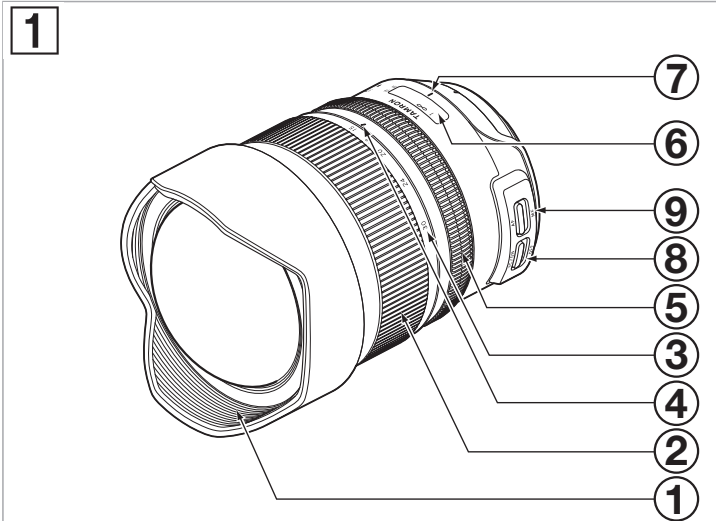


TAMRON | Model: A041 Owner's manual

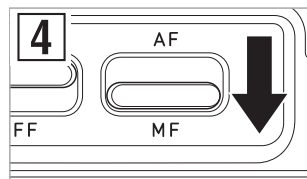
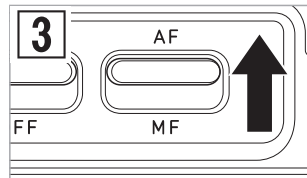
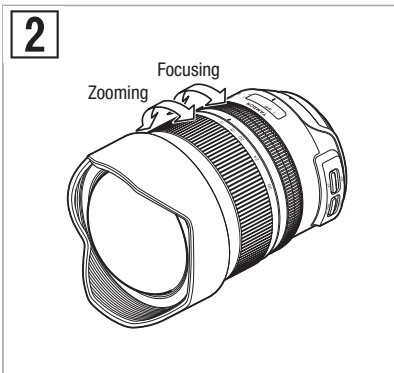
SP 15-30mm F/2.8 Di VC USD G2

For Nikon DSLR
For Canon DSLR



CE * The **CE** Marking is a directive conformity mark of the European Community (EC).
 * Das **CE**-Zeichen entspricht der EC Norm.
 * La marquage **CE** est un marquage de conformité à la directive CEE (CE).
 * La marca **CE** es marca de conformidad según directiva de la Comunidad Europea (CE).
 * Il marchio **CE** attesta la conformità alla direttiva della Comunità Europea (CEE).
 * **CE** 标志表示符合欧洲共同体(CE)指标

CE The EEC Conformity Report applies to the Council Directive 2014/30/EU, 2011/65/EU and is used by Tamron Co., Ltd., manufacturer of this product.



日本語

タムロンレンズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、このレンズを取りつけてご使用になるカメラの取扱説明書も、併せてお読みください。

お読みになった後は本取扱説明書を大切に保管してください。

本レンズをお使い頂く上で安全上のご注意は、同梱されております用紙「タムロンレンズ安全上のご注意」に詳しく記載されておりますので、そちらも必ずお読みください。

- 不都合が生じる恐れがある注意事項が書かれています。
- 基本操作に加えて知っていただきたい事項が書かれています。

各部の名称 (図 1 参照)

- | | |
|---------------|---------------|
| ① レンズフード | ② ズームリング |
| ③ 焦点距離目盛 | ④ 焦点距離指標 |
| ⑤ フォーカスリング | ⑥ 距離目盛 |
| ⑦ 距離指標 | ⑧ VCスイッチ |
| ⑨ AF・MF切替スイッチ | ⑩ レンズ取付指標 |
| ⑪ 信号接点 | ⑫ リアフィルターホルダー |

- ご使用になる前に本製品に貼られたテープはあらかじめ剥がしてください。

主な仕様

モデル	A041
焦点距離	15 - 30 mm
明るさ	F/2.8
画角 (対角)	110°32' - 71°35'
レンズ構成	13群18枚
最短撮影距離	0.28 m
最大撮影倍率	1:5
長さ	142.5 mm*
最大径	φ98.4 mm
質量	1,100 g*

- *の数値はニコン用のものです。
- 長さ：レンズ先端からマウント面までの距離。
- 仕様・外観は、お断りなく変更する場合があります。

カメラへの取り付け・取り外し

レンズの後キャップを外し、レンズ取付指標⑩とカメラ側のマウント指標を合わせてはめ込みます。

レンズをニコンの場合は反時計回り、キヤノンの場合は時計回りにロックがかかるまで回します。

取り外すときは、カメラ側のレンズ取り外しボタンを押しながら、取り付け時とは逆回りに回して取り外します。

- カメラの電源OFFの状態で行ってください。
- キヤノンのカメラは、カメラのEFレンズ用指標 (赤丸) に合わせてください。

- 詳しくはご使用カメラの取扱説明書を併せてご覧ください。

フォーカスモードの切り替え (図 1 - 4 参照)

オートフォーカス (AF) で撮影するときは、AF・MF切り替えスイッチ⑨をAFにします。(図 3)

マニュアルフォーカス (MF) で撮影する場合は、AF・MF切り替えスイッチ⑨をMFにし、フォーカスリング⑤を手で回してピントを合わせます。(図 2, 4)

- 距離目盛⑥は、ある程度の目安として表記していますので、実際のピント位置と異なる場合があります。
- AF撮影時、被写体によってはAFが合いにくい場合があります。

- フルタイムマニュアル機構により、AFでピント合わせの際、AF・MFスイッチ⑨がAFのまま、フォーカスリング⑤を回すことでMFへ切り替えることが可能です。シャッターボタンから指を離し、再度シャッターボタンを半押しすると、AFが再開します。
- さまざまな状況下でピントを確保できるよう、フォーカスリング⑤は無制限 (∞) 位置よりも余分に回転します。したがってマニュアルフォーカス撮影では、無制限にピントを合わせる場合も、必ずファインダーでピントを確認してから撮影してください。
- 詳しくはご使用カメラの取扱説明書を併せてご覧ください。

VC機構について (図 1, 5 参照)

VC (Vibration Compensation) は、手持ちで撮影した際に起こる手ブレを補正する機構です。

VCの使い方 (図 5)

VCを使用する際は、VCスイッチ⑧をONにしてください。

シャッターボタンを半押しした後、ファインダー像が安定するのを確認してから撮影してください。

- VCは以下のような状況下で有効です
 - 薄暗い場所
 - ストロボ撮影が禁止されている場所
 - 足場が不安定な場所
- 次のような状況では、VCが十分に作動しない場合があります
 - 大きく揺れ動く乗り物から撮影するとき
 - カメラを大きく動かしながらの撮影
 - 三脚を使用して撮影するとき
 - バルブ (長時間露出) 撮影の際には、VCスイッチ⑧をOFFにしてください。VCが誤作動を起こす場合があります。

- VCの原理上、シャッターボタンを半押しした直後、ファインダー像がゆれる事がありますが故障ではありません。
- VCスイッチ⑧をONで使用する場合、カメラの電源を消費するため撮影可能枚数は少なくなります。
- 三脚を使用するなど、手持ち以外で固定して撮影するときは、VCスイッチ⑧をOFFにしてください。
- VCが作動中はレンズを取り外さないでください。VC作動中に外してしまった場合、レンズを振るとカタカタと音がしますが、故障ではありません。レンズをカメラに装着し、カメラの電源をONにすると音は消えます。
- 内蔵フラッシュ搭載のカメラで、内蔵フラッシュ充電中はVCがOFFになります。(ニコン用のみ)

ズーミング (図 1, 2 参照)

ファインダーをのぞきながらズームリング②を回し、作画イメージに合う焦点距離にセットして撮影します。

レンズフードについて (図 1 参照)

レンズフード①が標準装着されています。一体型で固定されているため、取り外しは出来ません。

リアフィルターホルダー (キヤノン用のみ) (図 1, 6 - 8 参照)

このレンズのキヤノン用には後部にフィルターホルダー⑫が設けてあります。

市販のシートタイプのフィルターを図 6 の大きさに切って、ホルダーに差し込んでください。

この時ズームリング②をテレ側にしておくと、差し込みやすくなります。

- 装着する時はフィルターの四隅がホルダーに差し込まれているか確認してください (図 8)。
- 四隅が差し込まれていないと、フィルターが外れてしまう場合があります。
- 後部のレンズに注意してフィルターを差し込んでください。
- フィルターは1枚のみ使用できます。
- フィルターによってはゴーストが出る可能性があります。

TAP-in Console (別売)

別売のTAP-in Consoleを使用することで、さまざまな調整を行うことができます。

- VCの優先モード切り替え
- ピントの調整
- ファームアップ
- フルタイムマニュアルの感度調整

- 弊社サイトよりソフトウェアをダウンロードする必要があります。
- 詳しくはTAP-in Consoleの取扱説明書をご覧ください。

撮影時のご注意

- 最短撮影距離を短くすることを実現するために、インターナルフォーカス方式を採用しています。このため、無限遠に満たない撮影距離で撮影した場合、他のフォーカス方式を採用しているレンズに比較して、画角が広がる場合があります。
- カメラの内蔵ストロボを使ってフラッシュ撮影される場合は、レンズ本体がストロボ光を遮って画面下部に半円形のケラレが出る場合があります。
- フラッシュ撮影では、外部着脱式の専用ストロボのご使用をおすすめします。
- カメラの表示システムの違いにより、開放F値、及び最小F値が仕様と異なった値で表示される場合がありますが、異常ではありません。
- レンズの前側にはフィルターが装着できません。
- ニコン用は後部フィルターの装着ができません。
- ミラーレス一眼カメラでの使用は保証外となります。

長くご使用いただくために

- レンズ面についたゴミや汚れは、ブローアで吹き飛ばすか柔らかいハケで取り除いてください。レンズ面は指で触れないようにしてください。
- レンズ面の前玉には撥水・撥油性に優れた防汚コートが施されています。水分をはじくため、前玉のお手入れの際はレンズクリーナー等を使用せずに乾拭きを行ってください。
- レンズ面の後玉の清掃は、市販のレンズクリーニングペーパーやよく洗った木綿の布やマイクロファイバークロス (眼鏡などの専用清掃布) に、レンズクリーナーをしみこませて、レンズ面の中心部から軽く拭き取ってください。シリコンクロスは使わないでください。
- 鏡筒部はシリコンクロスで清掃してください。ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。
- カビはレンズの大敵です。風通しがよく、ゴミやホコリの少ない場所に保管してください。ケースに入れて保管する場合は、市販の乾燥剤を入れ、時々交換してください。
- レンズの信号接点には、指を触れないようにしてください。ホコリや汚れなどによって接触不良になると、レンズとカメラ間の信号の伝達が正しく行われなくなり、誤作動の原因になります。
- 温度が急激に変化すると、カメラ及びレンズ内部に水滴が生じ、故障の原因となります。
- ビニール袋などで密封し、周囲の温度になじませてから取り出してご使用ください。

TAMRON

日本語

タムロンレンズ安全上のご注意

安全のため、ご使用前には必ずこの「タムロンレンズ安全上のご注意」と取扱説明書をお読みください。

お読みになった後は、いつでも必要な時に取り出せるように、保管してください。
この説明書では、危険をその内容、程度に応じ、次の2種類に分けています。



警告

この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- レンズやレンズをつけたカメラを太陽や強い光源に向けてのぞいたり、撮影したりしないでください。失明やレンズ、カメラの故障、火災の原因となります。
- 分解したり、修理や改造をしないでください。
レンズやカメラの損傷の原因になります。
- レンズは乳幼児の手の届くところへは置かないでください。
落ちたり、倒れたりして怪我をする恐れがあります。



注意

この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があります。または物的損害が発生する可能性があります。

- 日光が直接あたるところや、自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。内部の部品へ影響を与え、火災の危険となる場合があります。
- 使用しないときは、レンズキャップを必ず付けてください。
- レンズをカメラに装着する場合は、レンズとカメラを正しくセットし、きちんとロックされたことを確認してください。
正しく装着されていない場合、レンズが外れなくなる、外れて落下する等、故障やけがの原因になります。
- レンズは撮影以外の用途には使用しないでください。
- 三脚にレンズを取り付けたまま移動しないでください。